

# 令和7年度 体育 シラバス

科目	体育	単位数	2 単位
		対象 部・年次	1・2・3部 1年次
目標	各種の運動を通じて、知識を深めるとともに技能を高める中で、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにする。また、健康・安全を確保して、卒業後に運動に親しみ、継続できるような資質や能力を育てる。		

## ■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身につけ、相手との攻防を行うことができる。 選択した運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題の解決方法、練習の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方を理解している。	生涯にわたって運動を継続するために、課題を見つけ、解決するための方法を工夫しようとしている。	運動の楽しさや喜びを味わうことができるように、健康・安全を確保して、自ら積極的に取り組もうとしている。
評価方法	知識に関する小テスト、運動に関する実技試験を行い、運動に関する知識・技能を評価する。	試合や技能練習での自他に関する課題解決を考え、伝えているかを評価する。	授業への参加を評価する。授業への取り組む姿勢を評価する。

## ■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
前期	体づくり運動 ソフトボール バドミントン 器械運動	生徒の実態に合わせ、複数教員が指導する。 単元末に筆記試験・実技試験を実施し、定着度を測る。 ICT機器を使用し、自身の運動を客観視できるようにする。	iPad (teams, classroom, カメラ, Jamboard等) 自作プリント
後期	バスケットボール 陸上競技 サッカー テニス ダンス 体育理論		

## ■どのように評価されるか、学習のアドバイス

- 1 実技科目であるため、欠席をしないようにする。
- 2 自他の健康・安全に配慮して、積極的に授業に参加をする。

# 令和7年度 体育 シラバス

科目	体育	単位数	3 単位
		対象 部・年次	1・2・3部 2年次
目標	各種の運動を通じて、知識を深めるとともに技能を高める中で、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにする。また、健康・安全を確保して、卒業後に運動に親しみ、継続できるような資質や能力を育てる。		

## ■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身に付け、相手との攻防を行うことができる。 選択した運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題の解決方法、練習の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方を理解している。	生涯にわたって運動を継続するために、課題を見つけ、解決するための方法を工夫しようとしている。	運動の楽しさや喜びを味わうことができるように、健康・安全を確保して、自ら積極的に取り組もうとしている。
評価方法	知識に関する小テスト、運動に関する実技試験を行い、運動に関する知識・技能を評価する。	試合や技能練習での自己に関する課題解決を考え、伝えているかを評価する。	授業への参加を評価する。授業への取り組む姿勢を評価する。

## ■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
前期	体づくり運動 ソフトボール バドミントン 器械運動	生徒の実態に合わせ、複数教員が指導する。単元末に筆記試験・実技試験を実施し、定着度を測る。 ICT機器を使用し、自身の運動を客観視できるようにする。	iPad(teams, classroom, カメラ, Jamboard等) 自作プリント
後期	バスケットボール 陸上競技 サッカー テニス ダンス 体育理論		

## ■どのように評価されるか、学習のアドバイス

- 1 実技科目であるため、欠席をしないようにする。
- 2 自他の健康・安全に配慮して、積極的に授業に参加をする。

# 令和7年度 体育 シラバス

<b>科目</b>	体育	<b>単位数</b>	2 単位
		<b>対象 部・年次</b>	1・2・3部 3年次
<b>目標</b>	各種の運動を通じて、知識を深めるとともに技能を高める中で、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにする。また、健康・安全を確保して、卒業後に運動に親しみ、継続できるような資質や能力を育てる。		

## ■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>趣旨</b>	各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身に付け、相手との攻防を行うことができる。 選択した運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題の解決方法、練習の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方を理解している。	生涯にわたって運動を継続するために、課題を見つけ、解決するための方法を工夫しようとしている。	運動の楽しさや喜びを味わうことができるように、健康・安全を確保して、自ら積極的に取り組もうとしている。
<b>評価方法</b>	知識に関する小テスト、運動に関する実技試験を行い、運動に関する知識・技能を評価する。	試合や技能練習での自他に関する課題解決を考え、伝えているかを評価する。	授業への参加を評価する。授業への取り組む姿勢を評価する。

## ■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
<b>前期</b>	体づくり運動 ソフトボール バドミントン 器械運動	生徒の実態に合わせ、複数教員が指導する。 単元末に筆記試験・実技試験を実施し、定着度を測る。 ICT機器を使用し、自身の運動を客観視できるようにする。	iPad (teams, classroom, カメラ, Jamboard等) 自作プリント
<b>後期</b>	バスケットボール 陸上競技 サッカー テニス ダンス 体育理論		

## ■どのように評価されるか、学習のアドバイス

1 実技科目であるため、欠席をしないようにする。 2 自他の健康・安全に配慮して、積極的に授業に参加をする。
---

# 令和7年度 体育 シラバス

<b>科目</b>	体育	<b>単位数</b>	2 単位
		<b>対象 部・年次</b>	1・2・3部 4年次
<b>目標</b>	各種の運動を通じて、知識を深めるとともに技能を高める中で、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにする。また、健康・安全を確保して、卒業後に運動に親しみ、継続できるような資質や能力を育てる。		

## ■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>趣旨</b>	各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身に付け、相手との攻防を行うことができる。 選択した運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題の解決方法、練習の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方を理解している。	生涯にわたって運動を継続するために、課題を見つけ、解決するための方法を工夫しようとしている。	運動の楽しさや喜びを味わうことができるように、健康・安全を確保して、自ら積極的に取り組もうとしている。
<b>評価方法</b>	知識に関する小テスト、運動に関する実技試験を行い、運動に関する知識・技能を評価する。	試合や技能練習での自他に関する課題解決を考え、伝えているかを評価する。	授業への参加を評価する。授業への取り組む姿勢を評価する。

## ■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
<b>前期</b>	体づくり運動 ソフトボール バドミントン 器械運動	生徒の実態に合わせて、複数教員が指導する。 単元末に筆記試験・実技試験を実施し、定着度を測る。 ICT機器を使用し、自身の運動を客観視できるようにする。	iPad (teams, classroom, カメラ, Jamboard等) 自作プリント
<b>後期</b>	バスケットボール 陸上競技 サッカー テニス ダンス 体育理論		

## ■どのように評価されるか、学習のアドバイス

1 実技科目であるため、欠席をしないようにする。 2 自他の健康・安全に配慮して、積極的に授業に参加をする。
---

# 令和7年度 体育 シラバス

<b>科目</b>	体育	<b>単位数</b>	1 単位
		<b>対象 部・年次</b>	後期入学生

**目標** 各種の運動を通じて、知識を深めるとともに技能を高める中で、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにする。また、健康・安全を確保して、卒業後に運動に親しみ、継続できるような資質や能力を育てる。

## ■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>趣旨</b>	各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身に付け、相手との攻防を行うことができる。 選択した運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題の解決方法、練習の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方を理解している。	生涯にわたってスポーツを継続するために、課題を見つけ、解決するための方法を工夫しようとしている。	運動の楽しさや喜びを味わうことができるように、健康・安全を確保して、自ら積極的に取り組もうとしている。
<b>評価方法</b>	知識に関する小テスト、運動に関する実技試験を行い、運動に関する知識・技能を評価する。	試合や技能練習での自他に関する課題解決を考えているかを評価する。	授業への参加を評価する。授業への取り組む姿勢を評価する。

## ■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
<b>後期</b>	バスケットボール 陸上競技 サッカー テニス ダンス 体育理論	基礎練習を反復して行う。単元毎に実技試験を行い、定着度を測る。生徒の実態に合わせて展開する。	自作プリント iPad（カメラ機能、Teams、Classroom等）

## ■どのように評価されるか、学習のアドバイス

- 1 実技科目であるため、欠席をしないようにする。
- 2 自他の健康・安全に配慮して、積極的に授業に参加する。

# 令和7年度 保健 シラバス

<b>科目</b>	保健	<b>単位数</b>	1 単位
		<b>対象 部・年次</b>	1・2・3部 1年次
<b>目標</b>	個人及び社会における健康・安全についての課題を知り、解決するための方法を考える。 また、生涯を通じて自らの健康を適切に管理・改善し、著しい社会の変化に対応する資質や能力を育てる。		

## ■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>趣旨</b>	個人及び社会生活における健康・安全について理解しているとともに、技能を身につけている。	個人及び社会生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して総合的に思考・判断しているとともにそれらを他者に伝えている。	健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについて主体的に取り組もうとしている。
<b>評価方法</b>	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート グループワーク	授業中の発言 教師による行動観察 ワークシート

## ■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
<b>前期</b>	1単元 現代社会と健康	単元末に単元テスト・自己評価を実施する。 学期末に考査を行い、定着度をはかる。 グループワーク、ICT機器を有効的に活用する。	現代高等保健体育【大修館】 自作プリント
<b>後期</b>	2単元 安全な社会生活		

## ■どのように評価されるか、学習のアドバイス

授業での取り組み状況、定期考査、提出物を通して、総合的に評価する。
-----------------------------------

# 令和7年度 保健 シラバス

<b>科目</b>	保健	<b>単位数</b>	1 単位
		<b>対象 部・年次</b>	1・2・3部 2年次
<b>目標</b>	個人及び社会における健康・安全についての課題を知り、解決するための方法を考える。 また、生涯を通じて自らの健康を適切に管理・改善し、著しい社会の変化に対応する資質や能力を育てる。		

## ■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>趣旨</b>	個人及び社会生活における健康・安全について理解しているとともに、技能を身につけている。	個人及び社会生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して総合的に思考・判断しているとともにそれらを他者に伝えている。	健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについて主体的に取り組もうとしている。
<b>評価方法</b>	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート グループワーク	授業中の発言 教師による行動観察 ワークシート

## ■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
<b>前期</b>	3単元 生涯を通じる健康	単元末に単元テスト・自己評価を実施する。 学期末に考査を行い、定着度をはかる。 グループワーク、ICT機器を有効的に活用する。	現代高等保健体育【大修館】 自作プリント
<b>後期</b>	4単元 健康を支える環境づくり		

## ■どのように評価されるか、学習のアドバイス

授業での取り組み状況、定期考査、提出物を通して、総合的に評価する。
-----------------------------------

# 令和7年度 体育 シラバス

<b>科目</b>	体育	<b>単位数</b>	1 単位
		<b>対象 部・年次</b>	1・2部 3・4年次（自選）
<b>目標</b>	各種の運動を通じて、知識を深めるとともに技能を高める中で、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにする。また、健康・安全を確保して、卒業後に運動に親しみ、継続できるような資質や能力を育てる。		

## ■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>趣旨</b>	各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身に付け、相手との攻防を行うことができる。 選択した運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題の解決方法、練習の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方を理解している。	生涯にわたって運動を継続するために、課題を見つけ、解決するための方法を工夫しようとしている。	運動の楽しさや喜びを味わうことができるように、健康・安全を確保して、自ら積極的に取り組もうとしている。
<b>評価方法</b>	知識に関する小テスト、運動に関する実技試験を行い、運動に関する知識・技能を評価する。	試合や技能練習での自他に関する課題解決を考え、伝えているかを評価する。	授業への参加を評価する。授業への取り組む姿勢を評価する。

## ■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
<b>前期</b>	バスケットボール ソフトボール テニス	生徒の実態に合わせ、複数教員が指導する。 単元末に筆記試験・実技試験を実施し、定着度を測る。 ICT機器を使用し、自身の運動を客観視できるようにする。	iPad (teams, classroom, カメラ, Jamboard等) 自作プリント
<b>後期</b>	バドミントン 卓球 サッカー		

## ■どのように評価されるか、学習のアドバイス

- 1 実技科目であるため、欠席をしないようにする。
- 2 自他の健康・安全に配慮して、積極的に授業に参加をする。